

(問題は三枚です。解答は、別紙の解答用紙に記入してください。)

問題

次の文章を読んで、後の設問に答えなさい。

「君は舟なり、庶人は水なり。水は舟を載せ、水は舟を覆す」と中国の古典にある。君主の座も民衆しだいという意味だが、ある中国文学者から、もつときつい **a** カクゲン **a** がある **a** と教えてもらった。それは君主を魚に、民衆を水にたとえる。「魚、水を失わば死す。水、魚を失うも猶水たり」。へ 1 」、中国の王朝興亡史にはこちらの凄 **まじ** みがびつたりくる。民衆とは支配されつつ支配者の死命を握る、恐ろしい存在なのだと思ふ。

記憶の隅からそんな言葉が浮かんできたのは、コロナ禍の前、昨年暮れの本紙(※)記事を読んでのこと。中国が①膨大な量の **b** コクモツ **b** 備蓄を進めていると記事は伝えていた。その量たるや、小麦で世界の備蓄量の半分以上、コメは同じく3分の2を越す計算というから驚かされる。

(ア) **c** マサツ **c** の中では14億という胃袋を抱える国の、**A** の裏返しらしい。食糧不足で人々の不満が高じれば政権はゆらぎ **B** 。古来「民は食を以て天と為す」という国である。 **d** イセイ **d** 者にとつての一番の大事は国民を飢えさせず、食べさせることにあった。

共産党統治下でも1960年前後に失政と天災で数千万という②餓死者を出している。そうした過去も身に染みているのだろう。何せ予測不能なことが次々に起きる③昨今 **e** である。切り抜いておいた記事を読み返しながらかある日スーパーの棚から食品が消えることはないのかと、心配は日本の食糧事情に移っていく。

「パンデミック(新型コロナウイルスの世界的大流行)が僕らの文明をレントゲンにかけている」は、イタリアの作家パオロ・ジオルダーノ氏による絶妙の **C** **C** だが、命をつなぐ食糧をめぐっても様々に透けて見えるものがある。

日本の場合、その一つは **p** **p** 海外依存がはらむ危うさだろう。今回は日本には影響はなかったとはいえ、農産物の輸出を規制する国も相次いだ。頭にちらつくのは、先進国中で最低レベルという食料自給率(カロリーベース)だ。

半世紀ほど前の天声人語が、日本国憲法を書きかえよ、と述べていたのを思い出す。憲法前文はわれらの生存は「諸国民の公正と信義」によると言うが、それでは足りない。「諸国民の公正と信義および食糧」にすべきである、と。

へ 2 海外頼みの食糧事情をユーモア交じりに憂えたもので、その「趣旨」には私も賛意を抱く。当時の自給率はまだ55%あった。 **q** **q** 37%である。

都道府県別でみると、私の住む東京の自給率は1%。生産と流通の終着駅に鎮座して「食べる人」を決め込んでいる自分にはたとえ **r** **r** 恥じ入る気持ちになる。へ 3 何げなく割っている鶏卵も、調べると飼料の約9割を輸入に頼っている。万一輸入が止まれば1週間に1人1個という推算になるそうだ。数字の上とはいえ、心細くなってくる。

世界中で、いわゆる都市人口が膨らんでいる。国連によれば今や世界の人口の半数を超える。1950年に7・5億人だったのが一昨年は42億人に増えたという。それは「食料を買って生きる人」が増えたことを示すものでもあろう。

近所のスーパーには世界の農水産物を集約した食料品が並ぶ。その光景は「グローバル化」という言葉のもとで、今回のパンデミックとも密接に結びついている。このコロナ禍による食糧生産などへの悪影響で、新たに世界で1億3千万人が飢餓状態に **D** **D** おそれがあると国連は見る。飢えに苦しむ人々がもともと7億人近くいて、その上での数字である。

8年ほど前、本紙歌壇に④掲載されたこんな一首をノートに書きとめた。
へ 4 「すばらしい空腹」といふ広告文広告として成り立つ日本(檜山佳与子)

飽食ニツポンをちくりと刺した歌だとみるが、(イ) 飢えにおびえぬ空腹を健康的に謳うこの「広告文」がこれからもずっと成り立つだろうかと不安になる。パンデミックを経験した今はへ 4 だ。
そのときになって「想定外」という言い訳を、したくも、聞きたくもない。自省をこめて、「食べる人」から「食べることを考える人」になろうと思ふ。

(注) *本紙 朝日新聞

(福島申二(朝日新聞)「日曜に想う」二〇二〇年七月二十六日より)

(1)

問一

a

く

d

のカタカナを漢字に改めなさい。

問二——傍線部①～④の読み方をひらがなで記しなさい。

問三 空欄へ 1 へ 4 へに入る適切な表現を次の中から選び、番号で答えなさい。
1 たとえば 2 なおさら 3 もちろん 4 たしかに

問四 空欄 p r に入る適切な表現を次の中から選び、番号で答えなさい。
1 ときに 2 やはり 3 いまや

問五~~~~波線部(ア)「それ」の指示するものとして最も良いものを次の中から選び、番号で答えなさい。

- 1 小麦は世界の備蓄量の半分以上であること
- 2 コメは3分の2を越す計算
- 3 中国が膨大な量のコクモツ備蓄を進めていること
- 4 昨年暮れの記事を読んだこと
- 5 民衆とは支配されつつ支配者の死命を握る、恐ろしい存在

問六 空欄 A に入る適切な語句を次の中から選び、番号で答えなさい
1 不安 2 矛盾 3 虚無 4 恐怖 5 熟慮

問七 空欄 B に入る適切な語句を次の中から選び、番号で答えなさい
1 かねる 2 あわせる 3 ふくめる 4 かねない 5 ためらう

問八 空欄 C D に入る適切な表現をそれぞれ次の中から選び、番号で答えなさい。

- | | | | | | | | | | |
|-------|-----|---|-----|---|----|---|------|---|------|
| C Ⅱへ1 | 通説 | 2 | 逆接 | 3 | 命題 | 4 | たとえ | 5 | 滑稽 |
| D Ⅱへ1 | かかる | 2 | 変わる | 3 | 陥る | 4 | 陥没する | 5 | 耐え得る |

問九~~~~波線部(イ)「飢えにおびえぬ空腹を健康的に謳うこの『広告文』」について説明した次の文章のうち、最も良いものを選び、番号で答えなさい。

- 1 やせたい願望の人に空腹は美容によいという意味を含ませた広告文。
- 2 空腹になると若返るといふ伝説があるので「すばらしい空腹」と表現した広告文。
- 3 ダイエットを始めたら乗り越えなければならないのが「空腹」だから、予想されるとおりに表現した広告文。
- 4 空腹はつらく、いらいらしたり集中力が無くなってしまったりするが、かえってそのことがわれらの生存を公正なものにするという意味を表現した広告文。

問題二 次の文章を読んで、後の設問に答えなさい。

確かに、時間が存在すること、時間は決して無ではないことを知らない人はいないだろう。例えば、車を運転する人は、メーターを見ながら車のスピードを(ア)調整する。そのとき彼は、問題のスピードが「時速」だということ、つまり、一般に物体の運動は何ほどの時間を要するものであり、(ア) (空間)と時間との(イ)関数として表されるものだとこのことを知っているはずである。彼が途中で、眠気ざましにどこかでコーヒーを飲もうとしたとしよう。彼は、b サトウを無理に溶かそうとしても駄目で、サトウが溶けてくれるのを待たなければならぬ。物が変化し、新たなc ジタイが生じるためにも時間が必要であり、しかも時の(ウ)経過はわれわれの思いのままになるものではない。車の運転者は、サトウが溶けるのを待ちながら、或る時間が経過し終わるのを待つのであり、そのようにして時間を経験しているのである。(第一段)

へ ⑥ 右の車の運転者が何か取り返しのかかぬd ジコを起こしたとAしよう。取り返しがかからないということは、結局は、①「昔を今になす由」がないということである。彼は、あの時あしななければよかったと思うが、(あの時)はもう二度と返っては来ない。彼はほとんど無意識のうちに、時の経過に(あの時)や(この時)を区別しながら、どの時も刻々過去に消え去ってしまひ、それを再び生き返すことは不可能だということ、つまり時間の不可逆性をいやというほど思い知らされることであろう。へ ⑦ へ、もし彼が何か②新たな決意をしたとすれば、それは彼が、われわれには未来という時もあり、そこには自由のための(エ)余地在り残らなくても残っていると信じたからでなければならぬ。彼は、時間が存在することだけでなく、それにさまざまな時点を区別しうることを、それらは時には過去や現在や未来などと呼ばれうることを、要するに時間の(オ)構造をさえ知っていたということになる。彼は、B 時刻や曜日を思いe アヤマることがあるにしても、時間を何か他のもの、例えば空間などと取り違えることは、ほとんど絶対にならぬであろう。(第二段)

確かに、③時間は自明なものであり、われわれはいつもそれを「直観」しているとさえ言っていいいかもしれない。(第三段)

(滝浦静雄『時間』(岩波新書)より)

問一 a のカタカナを漢字に改めなさい。

問二 —— 傍線部 (ア) (オ) の読み方をひらがなで記しなさい。

問三 文章中の空欄 (a)・(b)・(c) に入れるべき最も適切な語句を次の語群の中から選び、番号で答えなさい。

- 1 そして
- 2 しかし
- 3 ところで
- 4 したがって
- 5 それにもかかわらず
- 6 そうしたことにも

問四 右の文章の第一段では、「時間」について二つの命題を提示しています。それらの命題は、二つの例示からそれぞれ一つずつ次のように引き出されています。

- ① は、キヨリと時間の関数である。
- ② は、人の意志とは無関係である。

この①と②の空欄に、それぞれ漢字ひらがな交じりの五文字を入れなさい。

問五 空欄 A に入れるべき最も適切な語句を次の中から選び、番号で答えなさい。

- 1 説明
- 2 仮定
- 3 推理
- 4 結論
- 5 判断

問六 ～～波線部①「昔を今になす由」がない」ということを「時間」というものの特性としてとらえようとするとき、その特性を筆者はどのように規定していますか。五文字以内で答えなさい。

問七 ～～波線部②「新たな決意」について、取り返しのつかぬジコを起こした車の運転者が「新たな決意」をする前提として、筆者は「時間」に対するどのような認識を挙げているか、次のように読み取ってみました。空欄①・②に当てはまる漢字二字の語句をそれぞれ本文中から選び、答えなさい。

「『現在』を、ジコを起こした『過去』に置換ええないから、() ① () においてジコから () ② () であろうとすること。」

問八 空欄 B に入れるべき最も適切なことば次の中から選び、番号で答えなさい。

- 1 必ず
- 2 決して
- 3 少しも
- 4 たとえ
- 5 つとめて

問九 ～～波線部③「時間は自明なものであり」という言葉が、右の文章の要旨を受けているとすれば、その「自明なもの」であるべき論理的な根拠はどこにあるか、次の中から最も適当なものを選び番号で答えなさい。

- 1 「時間」は確実に存在し、無ではないということ。
- 2 キヨリ、すなわち空間と時間との関数によって物事を見定めるということ。
- 3 「時間」は、待つという経験によってのみ理解しうるということ。
- 4 過去・現在・未来という「時間」の構造を心で感じ知ること。

問題三 次の傍線部①・②は漢字に直し、③④⑤の漢字は読み方をひらがなで記しなさい。

- ・ 自然の①セツリに従って生きる。
- ・ 生活を一新する②ケイキとなる。
- ・ ③恣意的に行動する。
- ・ ④平生の努力が実を結ぶ。
- ・ ⑤現地に赴く。